

令和3年度 大阪府立豊中支援学校 第1回 学校運営協議会記録

1、日時：令和3年6月16日（水）10：30－11：30

2、場所：本校調理室

3、構成：＜委員＞5名

＜事務局＞校長、教頭2名、事務長、首席3名  
傍聴者なし

4、内容

10:30	第1回協議会次第説明 校長挨拶 協議会委員・事務局の紹介 委員長挨拶	(事務局) (校長)  (委員長)
10:40	報告及び協議、質疑応答 ・令和3年度学校経営計画について ・高等部コース制について ・キャリア教育推進に向けた取組みについて ・令和2年度の進路状況について ・令和3年度の選定教科書について	(委員長) (校長) (首席) (首席) (首席) (首席)
11:20	事務連絡	(事務局)

●上記のとおり、報告等を行い、各委員より次のような意見をいただいた。

学校生活全般、学校経営計画について

- ・府内支援学校44校2分校のなかで最大の児童生徒の在籍数と、昨今の様々な状況を汲み取ると教職員のみなさまの心と身体を心配している。現在の過密の状況を発信することも、本協議会の役割のひとつとして協力していきたい。
- ・新年度がスタートして、新型コロナウイルス感染症拡大により保護者が来校できる授業参観が実施できていない。児童生徒数の増加については、通学区域のインクルーシブ教育推進の背景や各家庭の様々な教育的ニーズに寄り添った本校の先生方の取組みが評価されていると思っている。
- ・個別指導の重要性は理解できるが、本校の児童生徒数の状況では個別指導を継続し続けるのではなく、集団参加に向けた道しるべを児童生徒に示していくことが教育の質を維持するうえで大切であると感じている。
- ・GIGAスクール構想等のICT教育推進も含めて、本校での様々な取組みを報告いただけることを楽しみにしている。

高等部コース制、進路状況について

- ・高等部卒業後の就職者数減少の実態は、保護者や生徒のニーズとも大きく関連していると感じている。卒業後は福祉の力を借りながら準備期間を経て、長く勤められる職種を選択したいと考えている家庭が多いと感じている。子どもが「何をがんばっているか」意識できること、保護者としては、「与えられた仕事（役割）に応えるんだ！」というマインドを育ててほしい。

5、今後の予定

第2回 令和3年9月24日（金）10：30－11：30

第3回 令和4年2月 3日（木）10：30－11：30